

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1010号  
 2006年10月22日発行  
 日本聖公会東京教区  
 港区芝公園3-6-18  
 編集人 伊藤裕元

## ◆教区墓地礼拝

- ◇11月1日(諸聖徒日・水)
  - 八柱霊園 10時 神崎司祭
  - 染井墓地 11時 下条司祭
  - 谷中墓地 14時 笹森司祭
  - 青山墓地 14時 大畑司祭
  - 雑司が谷墓地 14時 河野司祭
  - 八王子・東京・南多摩霊園 14時 田光司祭
- ◇11月2日(木)
  - 小平霊園 10時半 井口司祭
  - 春秋苑 10時半 佐々木庸司祭
  - 多磨霊園 14時 田光司祭
  - \*聖職名主任司祭
  - \*集合場所 葉書判案内書参照ま
  - たは教区事務所宛に照会
  - \*小平墓地 五三二人の名前が刻
  - まれた墓誌が完成、当日、祝福
  - \*多摩教会G主催上川霊園墓地礼

念願の美術館に、先日やっ  
 と行くことができました。わ  
 たらせ溪谷鉄道に乗り、村宮  
 バスに揺られ、自然の真つ只  
 中に星野富弘村立美術館があ  
 りました。

わたしが星野さんの詩画に  
 出会ったのはもう20年前にな  
 ります。星野さんは、約40年  
 前の20代前半に中学体育教師  
 として模範演技中に大怪我を  
 され首から下が麻痺してしま  
 いました。数年後、絵筆を口にくわえて  
 絵を描くことを覚えました。その後、キ  
 リスト者のお連れ合いと出会い、信仰  
 とも出会いました。

「いのちが一番大切だと 思っていた  
 ころ 生きるのが 苦しかった いの  
 ちより大切なものが あると知った日

—————《恵みに生かされて》—————

## いのちより大切なもの

司祭 井口 諭

生きていくのが 嬉しかっ  
 た、紫のおだまきと重なって  
 ます。「冬があり夏があり 昼と  
 夜があり 晴れた日と 雨の日  
 があって ひとつの花が咲くよ  
 うに 悲しみも 苦しみもあつ  
 て 私が私になってゆく」、サフ  
 ランの絵と一緒にです。

誰もが、いのちが一番大切だと  
 思っています。人はその時、生き  
 るのが苦しくなります。しかし、  
 いのちより大切なものを見出した  
 時、生きることが嬉しくなります。誰も  
 が、悲しみや苦しみからは遠ざかりた  
 いものです。ところが、それがあつて、  
 私が私になってゆくと星野さんは信じ  
 ているのです。

(神田キリスト教会牧師)

(この用紙は再生紙を使っています)

## 今週・来週の予定 10月22日～11月4日

- 22(日) 聖霊降臨後第20主日  
 主教巡回  
 聖ルカ礼拝堂
- 24(火) 銀座朝拝会  
 多摩G牧師協議会
- 27(金) 教役者会  
 信仰と生活委員会
- 29(日) 聖霊降臨後第21主日  
 主教巡回  
 聖オルバン教会
- 31(火) 教区企画室  
 礼拝音楽委員会
- 11月  
 1(水) 教区墓地礼拝(別掲)  
 エルサレム教区  
 協働委員会
- 2(木) 教区墓地礼拝(別掲)

- 押(1日11時・前田司祭) 埋  
 葬関係者のご参加希望(霊園入  
 口の緑葉会館集合)
- ▽カパティラン「ファミ  
 リーコンサートin神楽坂」  
 11月11日(土) 14時半、聖  
 バルナバ教会。入場料五百円  
 (全自由席・お茶とフィリピン  
 菓子付)。照会・チケットは同  
 事務局宛に、電話03(343  
 62、または会場教会宛。
- 2) 6449。  
 ▽ぶどうのいえチャリ  
 ティー落語会「ぶどう寄席」  
 11月10日(金) 18時半、東京  
 聖テモテ教会。出演 古今亭圓  
 菊師匠、晴留家志んぶ師匠他。  
 木戸銭二千五百円・前売二千  
 円。照会・チケット ぶどうの  
 いえ・電話03(3818) 33  
 62、または会場教会宛。

## 常置委員会報告(10月10日)

\*日本聖公会聖歌集と主日のみことばについての主教会書簡、降臨節前主日名の読み替え、米國聖公会総裁主教就任式に首席主教代理で出席等、主教報告。  
\*教区会館・牧師館・主教邸(含管区センター工事負担)の修繕及び予備費の計上、9月収支と第3四半期、信生委と正平協合同委員会などの各主事報告。  
\*聖職養成委員会提案の内規につき財政委員会の答申を受け一部変更。主教裁量で支給する方向で予算計上し継続協議。  
\*八王子幼稚園園則変更了解。  
\*幼稚園委員会から上申された社会保険労務士顧問委嘱について協議、更に検討を促す。  
\*その他

## ▽聖マルコ教会緊急講演

会 「どうなる日本、どうなる暮らし 安倍新内閣の政策課題」講師・元NHK解説委員藤田太寅さん(三光教会・現関西学院大学大学院客員教授)。10月29日(日)13時半、聴講無料。電話042(361)7680。  
▽MJM(メトロポリタン・ジャパニーズ・ミニストリー)東京・出版記念講演会 『森泉弘次訳『マイモニデス伝』の06年日本翻訳出版文化賞受賞を記念して「マイモニデスについて」時代と人間像』講師「前記翻訳者(青山学院女子短期大学名誉教授)。10月26日(木)10時半〜12時半、日本聖公会管区事務所3階。参加費五百円。照会電話03(3394)4344。

## 《今、この教会では…》

小笠原聖ジョージ教会

当教会の設立時、教会委員三名の名義で土地が登記されて現在に至っています。今回、教区名義に変更することになりました。先代委員の土地相続人は人数で、法的手続に時間を要します。一致して賛同できるような相続人の代表から出された要望をもとに、教区に、今後も教会の教会活動が継続されること、教会が小笠原諸島で唯一のキリスト教教会として一世紀余の歴史を持ち、島のシンボルとなっている認識を持っていた、だくことを、強く要請しました。神さまの御心にかなう名義変更が出来ますように、心から願い祈っています。  
(瀬堀光江)

## 【学びと働きから】24

## 初の聖公会女性会議

今夏、日本聖公会第一回女性会議が箱根で開かれ、全教区から男女百人近くが参加した。平和と平等の実現へ向けた教会や社会にあって、取り組むべき課題と願いが話し合わせ、最終日には参加者「呼び掛け文」の形で発表、また広く発信された。テーマの通り「新しい扉を開く」連帯集会になったようだ。

東京教区からもスタッフ関係者多数が出席。その中で正義と平和協議会運営委員会推挙により一般参加した4人の方々に、ひとこと感想をうかがった。参加した日数や分科会はそれぞれで、必ずしも同見地での感想で

はないのだが…。(敬称略)

## 神崎和子執事

分科会では女性の視点で聖書を読むことの大切さを痛感した。聖書は一握りの男性によって書かれてきたがそれを女性の見方から問いなおすこと。すると今まで聖書の中で「悪女」とされてきた女性を本当に「悪女」として片付けてよいのだろうか、思い至る。そしてその問いは、新しい地平へと私たちを導くことに。

## 関ノリ子

スタッフや担当者の詳細な準備があつての充実した四日間であつた。発表・話し合いの中で多くの課題に気づかされた。私たちの周囲や世界で抑圧され差別されている人々の立場に立って痛みを共感できるようにと。平和への祈りの中で

の連帯、そしてみんなの真剣な取り組みに希望を抱いた。

## 藤井美佐子

子どもの教育とジェンダー、女性司祭の実現に伴うガイドラインの二分科会に参加。「理想とする想」と、教会や生活の中での「現実の想い・意識」の違いが顕著に表れ、どのような共同体の中で共に働いていきたいのかという想いを話し合い、持ち続けていくことの大切さを思った。

## 足立征三郎

礼拝参与にあつては男女の境は感じられない。環境問題は性差別云々ではなく人間としての問題。男女の境なく、共に協力し合つて様々な活動を強めることが、ジェンダー問題に男女が一緒に取り組む動きに繋がるのではないかと。